



3 蛭橋



漫画の中で描かれている工事中のマーンも完成しました

可児を駆け巡る 熱き青春★



可児市を舞台に、週刊少年チャンピオンで連載中の高校サッカー漫画「ジュニオール」。作中には市内の風景も登場。可児市でサッカーに打ち込む人たちや、「ジュニオール」との特別企画を紹介します。可児市のことを市内外に知ってもらえるチャンス！友達や家族、みんなで共有しよう。

問合先 広報課

© 灰谷音屋 (秋田書店) 2018

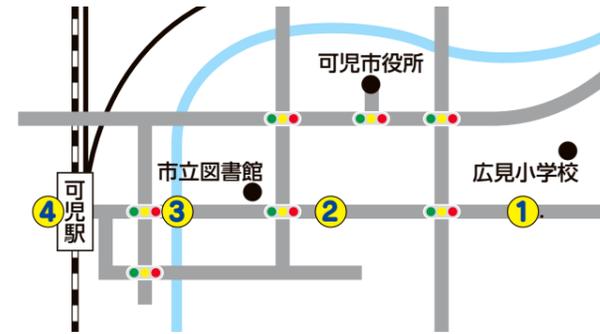
4 JR 可児駅



可児駅は漫画の中でも度々描かれています



Júnior で振り返る可児市の景色



あらすじ

サッカーエリートの道を閉ざされた志摩晃は「プロサッカークラブの監督になる」という夢を胸に秘め、地元の弱小チーム可児第三高校サッカー部「通称:かにさん」でサッカーを続けている。ある日の通学路、サッカーへの情熱を失っていた志摩の前に不思議な雰囲気や纏う美術部の五十嵐ジュニオールが現れる。彼の天真爛漫な性格と、サッカーの授業で見た超絶テクニクに志摩は衝撃を受け、子供たちだけの楽園のようなチームをつくることを決意する。仲間を増やししながら夢を追いかける彼は、どんなチームをつくっていくのだろうか…!?

ジュニオール (Junior)

ポルトガル語で〜の子ども。年下や駆け出しなどの意味。

第1話の試し読みはこちらから→

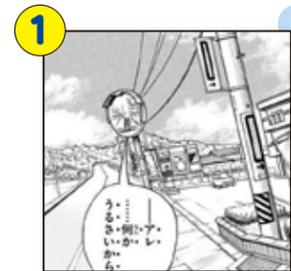


可児市のみなさんへ

この不思議なサッカー漫画『ジュニオール』の舞台、可児第三高校のある岐阜県可児市に取材に行ったのは昨年9月の上旬でした。一言で言うと灼熱でした。可児駅に降りた時、本当に暑かったです。曇り空がユラユラする中で駅の外を歩き、目当ての橋の取材をしているとレンズを向けた空が巨大な雲を描いてどこまでも青く異様に高かったのが強烈に印象に残っています。

あと植物。岐阜が日本一暑いのは知っていましたが、そのキラキラした日差しを受けた道端の植物、一軒家の花壇、畑の花が眩しいほどにキラキラと輝いて見えました。こういう発見があると本当に嬉しくなります。現地に行かなければ絶対に感じられないことです。まだ取材していないことも多く何度か足を運ぶことになりそうです。もしかしたらこれから皆さんの前にカメラをぶら下げてウロウロしている人物か、可児駅のベンチで仲間と談笑しているアフロの少年か、遅刻しそうになってあの橋を全力で走る少年が現れるかもしれません。その時はまあ…そっとしておいてあげてください。可児の素晴らしさを伝える一助になれることを願って。

作者 灰谷音屋



ボールさえあれば楽しめる

ボールは友達

手は反則だけど、肩ならOK

ピタっととめる

ゴール

華麗なシュートで虹のアーチを描く

みんなでイェーイ!

可児高校サッカー部
ジュニオール名場面を再現